



内藤とし子 議員

公共施設あり方計画について

問 住民発議を受けて、住民投票を実施することについての見解は。

答 公共施設のあり方は、住民説明会で説明してきた。多機能施設として再配置するための、バラ

ンスの取れたあり方を計画してきた。

問 住民投票で中央公民館の取り壊し反対の結果がでた場合、高浜小学校整備事業等は見直すべきと考える。複合化・縮減といったが、現在、複合化しようとしている整備事業で、どのような効果があると考えているか。

答 1施設を3機能で使えるように、計画を進めていく。

問 6月議会に、中央公民館の取り壊しに関連して商工会を移転させるためのエコハウス改修工事1,193万3千円。商工会に入っている3団体の補償費5,587万8千円。将来、商工会の会館を建てる際に必要な財政援助をするための担保

5,700万円。商工会を建てたときの、国からの補助金の未執行分754万円の国庫返納金。中央公民館の取壊し費用3億円に加え、これらの費用も必要になるが、市民にそんな説明はなかった。市民に説明をして進めるべきではないか。

答 住民投票の結果が出てから、議会とも協議して決めていく。

ボートピア（小規模舟券売り場）について

問 小規模場外舟券売り場が二池町に計画されているが、どのように認識しているか。

答 ボートピアとは、ボートレース場以外の場所で舟券を販売する施設で、モーターボート競争法に基づき、最終的に国土交通大臣の許可を受けて設置されるものです。

問 平成23年に田戸町に建設計画があった際、なぜ中止になったと捉えているか。子どもの交通安全や精神面で心配があり、中止を求める。

答 計画の賛否を問う町内会投票が行われた結果、反対が多かったと聞いている。市としては、正式な建設計画は承知していない。



杉浦康憲 議員

公共施設あり方計画について

問 中央公民館ホールの利用日数と利用件数。また、利用件数については、市内・市外の内訳を教えてください。

答 平成27年度は、利用日数が69日、利用件数が

72件で、うち市内申請者が55件、市外申請者が17件です。

問 毎年定期的に利用されていた方もみえると思いますが、どのような対応をとられたのか。

答 市内利用55件のうち、市や市の関係団体、学校の利用を除いた一般利用は7団体、16件となっています。代表の方には、代わりとなる施設の候補をご紹介するとともに、必要に応じて利用の相談に応じることをお伝えしています。

問 高浜小学校の体育館ができるまで、小中学校吹奏楽の発表場所は、どこで開催されることになるか。

答 1つ目として、高浜中学校体育館を使用し

て5小学校、2中学校の金管・吹奏楽の発表を行う。2つ目として、高浜中学校と吉浜小学校、翼小学校、南中学校と、高浜小学校、高取小学校、港小学校の発表会を2中学校に分かれて行う、どちらかの案で実施することを検討しています。ひかり幼稚園の発表会は、安城文化センターホールを予定されているとのこと。

問 公民館東側の駐車場と、シルバー人材センターに隣接している駐車場はどうなるのか。

答 立地の特性から、特別支援学校の送迎バスの発着場所として活用されるなど、公民館駐車場以外の機能も持っています。また、災害など非常時の一時避難場所や活動拠点といった、防災空地としての機能もあり、引き続きお借りしていきたいと考えています。

問 高浜小学校プールですが、どう考えていますか。

答 屋外で天候に左右されるということと、水質検査のため教職員の作業的な負担が大きく、民間プールを活用した水泳授業のあり方を目指したほうが、メリットが大きいと考えています。また、専門の指導者がサポートすることによる、効果的な指導も期待されます。